



INOUE Michiyoshi,  
Conductor

### 井上道義 (指揮)

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督兼常任指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任。2007年シヨスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案。2014年に4月病に倒れるが、同年10月に復帰を遂げる。近年では、全国共同制作オペラ『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』、大阪国際フェスティバル『パースタイン:ミサ』、『井上道義:A Way from Surrender ~降福からの道~』等を、いずれも総監督として既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。2018年「大阪府文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、2019年NHK交響楽団より「有馬賞」、2023年「第54回サントリー音楽賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。2024年12月をもって指揮活動からの引退を公表している。



TAKAHASHI Eri,  
Soprano

### 高橋絵理 (ソプラノ)

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラ研修所及び新国立劇場オペラ研修所修了。第47回日伊声楽コンクール第3位受賞、第6回静岡国際オペラコンクール第3位(1位なし)及びオーディエンス賞受賞。五島記念文化賞オペラ新人賞受賞により渡伊。2012年『パリアッチ』ネッダに抜擢され二期会デビュー。その後も日生劇場『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、グランドオペラ共同制作『カルメン』ミカエラ等を演じている他、近年も二期会『フィガロの結婚』伯爵夫人、『エドガール』フィデーリア等で出演、際立つ存在感を示している。国内主要オーケストラとの共演も多く、「第九」をはじめ、モーツァルト「レクイエム」、ロッシェニ「スターバト・マーテル」、マーラー「交響曲第2番(復活)」等のソリストとして高い評価を得ている。2024年7月、二期会『蝶々夫人』タイトルロールにて出演予定。二期会会員。



HAYASHI Mae,  
Mezzo-Soprano

### 林 眞咲 (メゾソプラノ)

横浜市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。同大学大学院音楽研究科独唱専攻修了。サントリーホール オペラ・アカデミー修了。令和元年度文化庁新進芸術家海外研修員。2016年バート・ヴィルトバート・ロッシェニ音楽祭『オーリー伯爵』ラゴンド役でデビュー後、リボルノ・ゴルドーニ劇場 ヴァレリオ・ガッリ指揮 マスカーニ『パルジエーナ』ステッラ役、サントリーホール ニコラ・ルイゾッティ指揮『椿姫』フローラ役、ひろしまオペラ 柴田眞郁指揮、岩田達宗演出『フィガロの結婚』マルチェリーナ役など国内外のオペラに多数出演。宗教曲では、尾高忠明指揮モーツァルト『戴冠ミサ』、ニコラ・ヴァレンティーニ指揮ロッシェニ『スターバト・マーテル』等のソリストも務めた。